

感染を防げ！コロナ禍で広がる取組みと支援の輪

ふるさと通信

第2号

発行元
NPO法人
われらはふるさと
医療応援団

NPO法人「われらはふるさと医療応援団」(理事長 平出 敦)は、2019年7月の設立以来、多くの医療支援を行っています。医療支援ができる人材育成のための各種コース、感染防護をはじめとする現場で即効性のある研修会、そして実際の医療支援と、活動は多岐にわたります。今回は、山添村でのワクチン接種支援の現在と、感染防護研修会について取り上げてみました。

山添村ワクチン接種支援の現在

本年4月26日(月)奈良県山辺郡山添村で、ワクチン接種支援を開始してから7月末までの約3か月間に、30回の支援を実施し、840人の方にワクチン接種を受けていただくことができました。また、支援に参加した当法人の会員は延べ60人に達しました。



この支援を今後も継続していくために、クラウドファンディングで資金援助を求めたところ、52人の方から御支援をいただき、40万円という高額にもかかわらず達成することが

できました。そして、この御支援に支えられ64歳以下の方々のワクチン接種支援が、8月9日から始まりました。ほんとうにありがとうございます。

支援の輪が広がることへの実感 大阪府内の高校生が山添村へ訪問

毎日放送が、6月3日に放映した当法人の山添村でのワクチン接種支援を見て、大阪府内の高校生、川崎和奏さんが、山添村を訪問しました。川崎さんは、「へき地で働く医療従事者が抱える問題を考える」というテーマで研究をされており、「へき地医療のことをもっと学びたい」と、支援活動中の平出理事長を訪ねました。



平出理事長へのインタビューの後、川崎さん自身も消毒など、実際の支援活動に参加されました。支援の輪が、少しずつ広がっていることが実感できる日となりました。



消毒をする川崎さん

福知山市夜久野町で感染防護研修会を開催

山間部と都市部をオンラインで結び同時開催

7月23日(金)京都府福知山市夜久野町で、医療・介護関係者のための感染防護研修会を開催しました。



今回の研修会は、この地で開院され地域の医療を守っておられる中路正明先生の御協力で開催する運びとなりました。また、中路先生の御提案で、新たな試みとして、京都市内にある4施設と会場をオンラインで結び、同

時間催を行いました。

全国的に猛暑が続く中、総勢100人近くの受講となりましたが、フルPPEを初めて着用する方も多く、その通気性のなさに「暑いです」と素直な感想を述べられていました。

それでも受講者からは、「実際にこの環境で着装して動くこともあるだろうと考えたらしい経験になった」と、感想を述べられている方もおられました。

ワクチン接種支援も感染防護研修会も、人と人とのつながりがあったからこそできることでですね。

お問い合わせ

われらはふるさと医療応援団へのお問い合わせは、ホームページからお願いします。

<https://furusato-med.jp/>